

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1262
施設名	西葛西ちとせ保育園
施設所在地	江戸川区西葛西2-17-15
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本『からだのなかはどうなっているの?』

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

・園でのプライベートゾーンなどの保健指導を通して、自分の身体の仕組みに関心を持つ姿が見られる。また、体調の変化など自分の今の状態を敏感に感じ取り、保育者に知らせる姿がある。

2. 活動スケジュール

- ①「からだのなかはどうなっているの?」の絵本を見る
- ②絵本を見て、身体の疑問について皆でディスカッションする
- ③身体の中の構造について、ポスターやカードを用いて振り返りをする
- ④全身画を描く活動を行う

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備した物】

・電子黒板、人体図カード、クレヨン、画用紙

【環境設定】

・絵本を全員で見られるように、電子黒板を用いて拡大して読み聞かせを行った。
・事前に絵本の内容に則した人体図や関連する言葉のカードを用意し、絵本でインプットした身体器官の内容について、クイズ形式でアウトプットできるように環境を整えた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・からだのなかはどうなっているの？の絵本を読んで、身体の中の仕組みについて関心を持ち、様々な器官の機能について知る。
- ・身体の構造に関心を持ち、イメージしながら自分の全身画を描く。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「どうしてからだはあたたかいの？」「どうしておなかやすくの？」など、絵本の内容を元に身体の疑問について問うと、自分なりに考え、積極的に意見を言おうとする姿が見られていた。絵本を読み終えた後は、「肺は2個あるよね」「身体の中には血が流れているんだね」などと、友だちと知り得た情報を共有し合う姿が見られていた。全身画も身体の構造を意識しながら、描き進める姿が見られていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

絵本の中には様々な身体に関する疑問が記されていたため、ボリュームが多かった。絵本を読み進めることで様々な情報を得ることができた。身体の器官の名前をすでに知っている子も多く、友だち同士で話し合う姿も見られ関心を持って参加していた。身体の器官の機能については、分かりやすい言葉でそれぞれの役割を知らせるようにしたことで、理解に繋がったように感じた。